

行政視察報告書

総務委員会行政視察		平成30年8月1日(水)～3日(金)
視察先 及び 視察事項	・平成30年8月1日(水)	
	福岡県北九州市	1 スタジアム整備事業について
		(1) スタジアム整備の経緯、施設の概要
		(2) PFI事業によるスタジアム整備
		ア PFI等の事業方法の検討について
		イ 同事業に係る特定事業の選定に当た るの客観的評価について
		ウ PFI事業による整備後の市全体への効 果と課題について
	・平成30年8月2日(木)	1 鹿児島市・松本市文化・観光交流協定について
	鹿児島県鹿児島市	(1) 職員交流事業
		(2) 観光未来戦略(都市間交流を中心に)
		2 世界文化遺産登録について
		(1) ユネスコ世界遺産委員会への対応
	(2) 市民との協働行動計画の推進	
	(3) 受入体制の整備	
福岡県 北九州市		
ミクニワールドスタジアム北九州視察 (平成29年完成)		
スタジアム		
施設概要・・・15,000人収容(将来的に2万人以上に拡張可能)		
PFI事業費・・・約115億円		
(1) 設計・建設 約99億円		
(2) 管理・運営 約15億円(15年間)		
PFI事業者・・・(株)ウインドシップ北九州		
(株)九電工、(株)梓設計 (株)奥村組		
(株)日本施設協会、美津濃(株)		
スタジアムの特徴		
1、海ちか・街なかスタジアム		
2、ダイナミックスタジアム・・・8m、ゼロタッチ		
3、エコスタジアム		
4、周辺施設を含めた多機能複合ゾーン		

エコスタジアム
・資源の再利用、省エネルギー、省資源対応
メインスタンド屋根に50キロワットの太陽光発電設備
LED照明、雨水活用等
・低炭素交通によるアクセスの促進
利用状況
平成29年の開業から一年間の利用日数は106日
そのうち55日がサッカー利用
スタジアムに集客することで周辺地域ににぎわいを創出する取り組みをしている。
視察を終えて
開業から1年になるスタジアムにしては、新しさを感じなかった。特に芝生の荒れ方がたいそうひどく、これでは、サッカーチームの士気は上がらないと感じた。
サッカー以外のイベント回数が多く芝生の養生ができていない。
今後も、新幹線エリア集客300万人を目指すとしているが、スタジアムをイベント会場として利用していくのであれば、サッカーの試合は非常に困難といえるのでは。
職員の前向きな姿勢は感じるが、正直、悩みながらといった感を受けたのは私だけではないと思う。
関係団体からの要望や、北九州スポーツ振興審議会からの提言などが後押しとなったと認識するが、一番は、現在の市長の公約だったという点が建設に至った大きな要因といえるのではないだろうか。要するにトップダウン的な部分が市民全体の盛り上がりという観点からみた場合、どうなのだろう。
PF Iについては、今後の参考にしたいと思います。また、トイレの使用中の表示の工夫もいいアイデアだと思いました。
アルウインは新しくないが、いい施設だと改めて思いました。
鹿児島市
世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」と鹿児島への取組
平成17年九州近代化産業遺産シンポジウムの開催から始まり、平成27年にユネスコ世界遺産委員会に置いて登録が決定。約10年の歩みになる。
寺山エリア、関吉エリア、磯エリアの3つのエリアで構成。
非西洋諸国で初めて意志をもって産業化を成し遂げ世界の舞台で近代国家として認知され、成功をおさめた貴重な産業遺産であることが、登録の大きな要因と認識した。

説明をお聞きする中で、市民が一致団結をし、世界遺産に向けて士気を高め努力していた経過がうかがえました。

松本市は、市民レベルで盛り上がりがあるのかどうか、やや疑問も。

また、松本城のみでは登録は難しいので、他の城との連携も図りながらの運動は、非常に時間のかかるとりくみとなることが予想される。

松本も、あきらめずに、信念を強くもって取り組んでいく必要があると実感。

明治の凝った建築物、興味深く鑑賞。

松本区裁判所の通気口と同じ造りがされていました。

平成30年8月10日

松本市議会議長 上條 俊道 様

総務委員会委員 上條美智子